

受付前点検(歯科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R1001	労災診療費請求書レコードの労災診療費単価が記録されていない場合、エラーを出力します。	R1001	<上段> 労災診療費単価が記録されていません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1002	労災診療費請求書レコードの労災診療費単価に使用できない値が記録された場合、エラーを出力します。	R1002	<上段> 請求できない労災診療費単価が記録されています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1005	労災診療費請求書レコードの病院・診療所の区分が記録されていない場合、エラーを出力します。	R1005	<上段> 病院・診療所の区分が記録されていません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1006	労災診療費請求書レコードの病院・診療所の区分に使用できない値が記録された場合、エラーを出力します。	R1006	<上段> 請求できない病院・診療所の区分が記録されています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1009	暦年月日以外の請求書提出年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R1009	<上段> 請求書提出年月日が正しい暦年月日で記録されていません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1010	療養期間一末日前の請求書提出年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R1010	<上段> 療養期間一末日前の請求書提出年月日が記録されています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1011	請求書提出年月日の年号に、「1」(明治)、「2」(大正)、「3」(昭和)、又は「4」(平成)以外が記録された場合、エラーを出力します。	R1011	<上段> 請求提出年月日の年号区分に誤ったコードが記録されています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1013	労災診療費請求書レコードの郵便番号に7桁の数字以外が記録された場合、エラーを出力します。	R1013	<上段> 郵便番号が正しく記録されていません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1014	労災診療費請求書レコードに医療機関所在地が記録されていない場合、エラーを出力します。	R1014	<上段> 医療機関所在地が記録されていません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1015	労災診療費請求書レコードに医療機関責任者氏名が記録されていない場合、エラーを出力します。	R1015	<上段> 医療機関責任者氏名が記録されていません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1016	労災診療費請求書レコードに労働基準監督署コードが記録されており、都道府県労働局コードが記録されていない場合、エラーを出力します。	R1016	<上段> 都道府県労働局コードが記録されていません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1017	労災診療費請求書レコードの都道府県労働局コードに登録されていないコードが記録された場合、エラーを出力します。	R1017	<上段> 都道府県労働局コードに誤ったコードが記録されています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1018	労災診療費請求書レコードの労働基準監督署コードに登録されていないコードが記録された場合、エラーを出力します。	R1018	<上段> 労働基準監督署コードに誤ったコードが記録されています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1019	労災診療費請求書レコードに指定病院等の番号が記録されていない場合、エラーを出力します。	R1019	<上段> 指定病院等の番号が記録されていません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1020	労災診療費請求書レコードの指定病院等の番号に7桁の数字以外が記録された場合、エラーを出力します。	R1020	<上段> 指定病院等の番号に数字以外が記録されています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1021	労災診療費請求書レコードの指定病院等の番号が労災指定医療機関台帳に未登録である場合、エラーを出力します。	R1021	<上段> 指定病院等の番号に誤ったコードが記録されています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1022	労災診療費請求書レコードの労災診療費単価に当該医療機関と一致しない労災診療費単価が記録された場合、エラーを出力します。 ①課税医療機関の場合に「1200」でない ②非課税医療機関の場合に「1150」でない	R1022	<上段> 記録された労災診療費単価が台帳と一致していません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1031	各レセプトの労災レセプトレコードの合計額(イ)+(ロ)+(ハ)の合計と請求金額が一致していない場合、エラーを出力します。	R1031	<上段> 各レセプトの労災レセプトレコードの合計額(イ)+(ロ)+(ハ)と労災診療費請求書の請求金額が一致していません。
R1032	労災レセプトレコードの件数と労災診療費請求書の内訳書添付枚数が一致していない場合、エラーを出力します。	R1032	<上段> 労災レセプトレコードの件数と労災診療費請求書の内訳書添付枚数が一致していません。
R1041	療養期間一初日に平成25年5月以前の年月日が記録された場合に、エラーを出力します。	R1041	<上段> 平成25年5月以前の療養期間一初日が記録されています。 <下段> 療養期間一初日[XXXXXXXX]ロレセプト内レコード番号[XXXX]ロレコード内項目位置[XXX]
R1702	受付情報の届出の2桁ずつの区切りが数字2桁、又はスペース2桁ではない場合、エラーを出力します。	R1702	<上段> 届出の桁数が2桁の倍数ではありません。 <下段> 届出[XX]
R1703	受付情報の届出に記録された「施設基準届出コード」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R1703	<上段> 使用できない施設基準届出コードで記録されています。 <下段> 届出[XX]

受付前点検(歯科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R1704	医療機関情報レコードの次にレセプト共通レコードが記録されていない又は、レセプト共通レコードの前に医療機関情報レコードが記録されていない場合、エラーを出力します。	R1704	<上段> 医療機関情報レコードの次レコードが、レセプト共通レコード以外又は、レセプト共通レコードの前レコードが、医療機関情報レコード以外です。 <下段> 行番号[XXXXXX]
R1705	受付情報レコードの届出が左詰で記録されていない場合、エラーを出力します。	R1705	<上段> 受付情報レコードの届出が左詰で記録されていません。 <下段> 届出[XX]
R1706	受付情報レコードの届出に同一のコードが重複して記録された場合、エラーを出力します。	R1706	<上段> 受付情報レコードの届出が重複して記録されています。 <下段> 届出[XX]
R1707	請求年月及び年号が暦年暦月以外の場合、エラーを出力します。	R1707	<上段> 受付情報レコードの請求年月が正しい暦年月ではありません。 <下段> 請求年月[XXXXXX]
R1910	レセプト番号が6桁以内の数字でない場合、エラーを出力します。	R1910	<上段> レセプト番号が6桁以内の数字ではありません。 <下段> 行番号[999999]□レセプト番号[999999]□労働者の氏名[労働者の氏名]
R1912	受付情報レコードの指定病院等の番号(都道府県コード、点数表コードを含む)が労災指定医療機関台帳に未登録である場合、エラーを出力します。	R1912	<上段> 受付情報レコードの指定病院等の番号がシステムに登録されていません。 <下段> 都道府県コード[XX]□点数表コード[X]□指定病院等の番号[XXXXXX]
R1917	医療機関単位のレセプト番号がレセプトごとに「1」から始まる昇順でない場合、エラーを出力します。	R1917	<上段> 医療機関単位のレセプト番号が「1」からの昇順ではありません。 <下段> 行番号[999999]□レセプト番号[999999]□労働者の氏名[労働者の氏名]
R1920	レセプト単位のエラー箇所が1000箇所以上である場合、エラーを出力します。	R1920	<上段> R2エラー箇所が1000箇所以上となりました。管轄の労働局へ連絡してください。
R1923	受付情報レコードの次のレコードが、レセプト情報の先頭を示す医療機関情報レコード以外である場合、エラーを出力します。	R1923	<上段> 受付情報レコードの次レコードが、医療機関情報レコード以外です。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXX]
R1928	受付情報レコードの記録限度(999回)を超えて記録された場合、エラーを出力します。	R1928	<上段> 受付情報レコードの記録が限度(999回)を超えています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXX]
R2002	転帰事由が記録されていない場合、エラーを出力します。	R2002	<上段> 転帰事由が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2003	入院レセプトに入院年月日が記録されていない場合、エラーを出力します。	R2003	<上段> 入院年月日が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2004	新継再別が記録されていない場合、エラーを出力します。	R2004	<上段> 新継再別が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2005	長期のレセプトで新継再別が「3」(転医始診)が記録された場合、エラーを出力します。	R2005	<上段> 長期のレセプトで新継再別に「3」(転医始診)が記録されました。 <下段> レコード識別情報[XX]□コード[XXXXXXXXXX] □レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2006	長期のレセプトで傷病年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R2006	<上段> 長期のレセプトで傷病年月日が記録されています。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2007	短期のレセプトで傷病年月日が記録されていない場合、エラーを出力します。	R2007	<上段> 短期のレセプトで傷病年月日が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2010	労働者の氏名(カナ)が記録されていない場合、エラーを出力します。	R2010	<上段> 労働者の氏名(カナ)が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2012	療養期間一初日が記録されていない場合、エラーを出力します。	R2012	<上段> 療養期間一初日が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2013	療養期間一末日が記録されていない場合、エラーを出力します。	R2013	<上段> 療養期間一末日が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2014	傷病の経過が記録されていない場合、エラーを出力します。	R2014	<上段> 傷病の経過が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2015	小計点数が記録されていない場合、エラーを出力します。	R2015	<上段> 小計点数が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2017	業務災害・通勤災害の区分が記録されていない場合、エラーを出力します。	R2017	<上段> 業務災害・通勤災害の区分が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2018	使用できない業務災害・通勤災害の区分が記録された場合、エラーを出力します。	R2018	<上段> 業務災害・通勤災害の区分の記録が誤っています。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]



受付前点検(歯科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R2317	療養期間一初日の年月に対して、暦日以外の算定日情報(回数)が記録された場合に、エラーを出力します。 ※算定日情報(回数):1日の情報~31日の情報になります。	R2317	<上段> 算定日情報(回数)が正しい暦年月日に記録されていません。 <下段> レコード識別情報[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]
R2318	未来院請求レセプトに算定日情報(回数)が記録された場合に、エラーを出力します。 ※算定日情報(回数):1日の情報~31日の情報になります。	R2318	<上段> 未来院請求レセプトに算定日情報(回数)が記録されています。 <下段> レコード識別情報[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2319	算定日情報(回数)が記録されていない場合に、エラーを出力します。 ※算定日情報(回数):1日の情報~31日の情報になります。	R2319	<上段> 次の摘要レコードに算定日情報(回数)が記録されていません。 <下段> レコード識別情報[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]
R2380	コメントパターン「90」(修飾語コード)の場合、文字データの桁数が4の倍数、又は4桁の文字が数字4桁またはスペース4桁ではない場合、エラーを出力します。	R2380	<上段> コメントデータの修飾語コードの桁数が4の倍数ではありません。 <下段> 修飾語コード[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2381	コメントレコード以外に診療識別「01」(入院のみ)、「99」が記録された場合、エラーを出力します。	R2381	<上段> コメントレコード以外に診療識別「01」「99」が記録されています。 <下段> レコード識別情報[XX]診療識別[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2382	1レセプト内に1000レコード以上の症状詳記レコードが記録された場合、エラーを出力します。	R2382	<上段> 1レセプト内に1000レコード以上の症状詳記レコードが記録されています。999レコードを超える症状詳記レコードは記録できません。
R2383	レセプト内の先頭症状詳記レコードの場合、症状詳記区分が省略された場合、エラーを出力します。	R2383	<上段> レセプト内で先頭の症状詳記レコードに症状詳記区分が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2384	使用できない症状詳記区分が記録された場合、エラーを出力します。	R2384	<上段> 使用できない症状詳記区分が記録されています。 <下段> 症状詳記区分[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2539	記録可能な文字数を超えるデータが記録された場合、エラーを出力します。 (ただし、医療機関情報レコードの電話番号については、R4893にてチェックするため、当該チェック対象外とします。)	R2539	<上段> 次の項目に、記録可能な文字数を超えるデータが記録されています。 <下段> レコード識別情報[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2540	レセプト情報(労災レセプトレコード)が存在しない場合、エラーを出力します。	R2540	<上段> レセプト情報(労災レセプトレコード)が記録されていません。 <下段> レコード識別情報[XX]
R2542	レコードの項目数とレコード識別情報が不一致である場合、エラーを出力します。	R2542	<上段> 次のレコードの項目数がレコード識別情報と一致しません。 <下段> レコード識別情報[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]
R2543	誤った記録モードで記録された場合、エラーを出力します。	R2543	<上段> 次の項目の記録モードが誤っています。 <下段> レコード識別情報[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2544	使用できない文字が記録された場合、エラーを出力します。	R2544	<上段> 次の項目に使用できない文字が記録されています。 <下段> レコード識別情報[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2547	レセプト単位に複数の労災レセプトレコードが記録された場合、エラーを出力します。	R2547	<上段> 労災レセプトレコードが複数記録されています。
R2553	固定桁数項目の桁数が不足している場合、エラーを出力します。	R2553	<上段> 当該項目の桁数が不足しています。 <下段> レコード識別情報[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2554	傷病名部位レコードが存在しない場合、エラーを出力します。	R2554	<上段> 傷病名部位レコードが記録されていません。
R2555	診療行為情報が存在しない場合、エラーを出力します。	R2555	<上段> 診療行為情報が記録されていません。
R2651	再請求レセプト(請求ファイルの拡張子がUKS)に対して、電算処理受付番号が記録されていない場合に、エラーを出力します。	R2651	<上段> 再請求レセプトの電算処理受付番号が記録されていません。
R2652	再請求レセプト(電算処理受付番号に値が記録)に対して、電算処理受付番号がシステムに登録されていない場合に、エラーを出力します。	R2652	<上段> 指定された電算処理受付番号は、システムに登録されていません。
R2653	不備返戻レセプト以外に、再請求(電算処理受付番号に値が記録)が行われた場合に、エラーを出力します。	R2653	<上段> 再請求されたレセプトは、不備返戻レセプトではありません。
R2702	医療機関情報レコードの都道府県が受付情報レコードと一致しない場合、エラーを出力します。	R2702	<上段> 医療機関情報レコードの都道府県が受付情報レコードと異なります。 <下段> 都道府県コード[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2703	医療機関情報レコードの点数表が受付情報レコードと一致しない場合、エラーを出力します。	R2703	<上段> 医療機関情報レコードの点数表が受付情報レコードと異なります。 <下段> 点数表コード[X]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XX]

受付前点検(歯科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R2704	労災診療費請求書レコードの指定病院等の番号が受付情報レコードと一致しない場合、エラーを出力します。	R2704	<上段> 労災診療費請求書レコードの指定病院等の番号が受付情報レコードと異なっています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2705	医療機関情報レコードの請求年月が受付情報レコードと一致しない場合、エラーを出力します。	R2705	<上段> 医療機関情報レコードの請求年月が受付情報レコードと異なっています。 <下段> 請求年月[XXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2706	医療機関情報レコードの届出の2桁ずつの区切りが数字2桁、又はスペース2桁でない場合、エラーを出力します。	R2706	<上段> 届出の桁数が2桁の倍数ではありません。 <下段> 届出[XX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2707	レセプト共通レコードの「未来院請求」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R2707	<上段> 使用できない未来院請求コードで記録されています。 <下段> 未来院請求コード[XX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2708	医療機関情報レコードの届出に記録された「施設基準届出コード」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R2708	<上段> 使用できない施設基準届出コードで記録されています。 <下段> 届出[XX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2709	レセプト共通レコードの「男女区分コード」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R2709	使用できない男女区分コードで記録されています。 <下段> 男女区分コード[X]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2711	レセプト共通レコードの「病棟区分」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R2711	<上段> 使用できない病棟区分で記録されています。 <下段> 病棟区分コード[XXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2716	傷病名部位レコードの「歯式(傷病名)」の「歯種コード」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R2716	<上段> 歯式(傷病名)が使用できない歯種コードで記録されています。 <下段> 歯式(傷病名)[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(最大384文字)XXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2717	傷病名部位レコードの「歯式(傷病名)」の「状態コード」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R2717	<上段> 歯式(傷病名)が使用できない状態コードで記録されています。 <下段> 歯式(傷病名)[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(最大384文字)XXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2718	傷病名部位レコードの「歯式(傷病名)」の「部分コード」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R2718	<上段> 歯式(傷病名)が使用できない部分コードで記録されています。 <下段> 歯式(傷病名)[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(最大384文字)XXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2719	傷病名部位レコードの「病態移行」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R2719	<上段> 使用できない病態移行で記録されています。 <下段> 病態移行コード[X]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2720	傷病名部位レコードの「主傷病」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R2720	<上段> 使用できない主傷病で記録されています。 <下段> 主傷病コード[XX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2721	傷病名部位レコードの「歯式(補足コメント)」の「歯種コード」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R2721	<上段> 歯式(補足コメント)が使用できない歯種コードで記録されています。 <下段> 歯式(補足コメント)[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(最大384文字)XXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2722	傷病名部位レコードの「歯式(補足コメント)」の「状態コード」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R2722	<上段> 歯式(補足コメント)が使用できない状態コードで記録されています。 <下段> 歯式(補足コメント)[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(最大384文字)XXXXXX XXXXXXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XX X]
R2723	傷病名部位レコードの「歯式(補足コメント)」の「部分コード」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R2723	<上段> 歯式(補足コメント)が使用できない部分コードで記録されています。 <下段> 歯式(補足コメント)[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(最大384文字)XXXXXX XXXXXXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XX X]
R2724	特定器材レコードの「特定器材コード」に規定の「特定器材加算等コード」が記録された場合、エラーを出力します。	R2724	<上段> 使用できない特定器材コードで記録されています。 <下段> 特定器材コード[XXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2725	特定器材レコードの「単位コード」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R2725	<上段> 使用できない単位コードで記録されています。 <下段> 単位コード[XXX] □レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2726	特定器材レコードの「特定器材加算等コード」に規定のコード以外が記録された場合、エラーを出力します。	R2726	<上段> 使用できない特定器材加算等コードで記録されています。 <下段> 特定器材加算等コード[XXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2727	コメントレコード「歯式(コメント)」の「歯種コード」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R2727	<上段> 歯式(コメント)が使用できない歯種コードで記録されています。 <下段> 歯式(コメント)[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(最大384文字)XXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]

受付前点検(歯科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R2728	コメントレコード「歯式(コメント)」の「状態コード」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R2728	<上段> 歯式(コメント)が使用できない状態コードで記録されています。 <下段> 歯式(コメント)[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(最大384文字)XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2729	コメントレコード「歯式(コメント)」の「部分コード」が規定のコードで記録されていない場合、エラーを出力します。	R2729	<上段> 歯式(コメント)が使用できない部分コードで記録されています。 <下段> 歯式(コメント)[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(最大384文字)XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2730	歯科診療行為レコードの加算コードnが記録なしで、加算数量データnが記録された場合、エラーを出力します。	R2730	<上段> 加算コードが記録されていない場合、加算数量データは記録できません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2731	特定器材レコードの特定器材加算等コードnが記録なしで、特定器材加算等数量データnが記録された場合、エラーを出力します。	R2731	<上段> 特定器材加算等コードが記録されていない場合、特定器材加算等数量データは記録できません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2732	傷病名部位レコードの「歯式(傷病名)」が6桁ずつの区切りが英数字6桁、又はスペース6桁でない場合、エラーを出力します。	R2732	<上段> 歯式(傷病名)の桁数が6桁の倍数ではありません。 <下段> 歯式(傷病名)[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(最大384文字)XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2733	傷病名部位レコードの「歯式(補足コメント)」が6桁ずつの区切りが英数字6桁、又はスペース6桁でない場合、エラーを出力します。	R2733	<上段> 歯式(補足コメント)の桁数が6桁の倍数ではありません。 <下段> 歯式(補足コメント)[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(最大384文字)XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2734	コメントレコードの「歯式(コメント)」の6桁ずつの区切りが英数字6桁、又はスペース6桁でない場合、エラーを出力します。	R2734	<上段> 歯式(コメント)の桁数が6桁の倍数ではありません。 <下段> 歯式(コメント)[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(最大384文字)XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2736	併存傷病名及び病態移行が記録されている傷病名部位レコードにて、併存傷病名グループ内の病態移行が全て同一で記録されていない場合、エラーを出力します。	R2736	<上段> 併存傷病名数又は、病態移行の記録に誤りがあります。 <下段> レコード識別情報[XX]併存傷病名数[X]病態移行[X]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2737	併存傷病名数分の傷病名部位レコードが記録されていない場合、エラーを出力します。	R2737	<上段> 併存傷病名数の記録に誤りがあります。 <下段> レコード識別情報[XX]併存傷病名数[X]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2739	診療行為情報にて診療識別コードの1桁目が変わる最終レコード、あるいは診療行為情報の最終レコードである場合、点数、回数の両方、または金額、回数の両方が省略された場合、エラーを出力します。	R2739	<上段> 診療行為情報の記録単位で点数、回数の両方、又は金額、回数の両方が省略されています。 <下段> レコード識別情報[XX]診療識別[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2740	入院レセプトの医療機関情報レコードの届出と一致する「施設基準届出コード」が受付情報レコードに記録されていない場合、エラーを出力します。	R2740	<上段> 医療機関情報レコードの届出が受付情報レコードと異なります。 <下段> 届出[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2742	診療行為情報の診療識別が昇順に記録されていない場合、エラーを出力します。	R2742	<上段> 診療行為情報の診療識別が昇順に記録されていません。 <下段> レコード識別情報[XX]診療識別[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2743	傷病名部位レコードの歯式(傷病名)が規定の順序で記録されていない場合、エラーを出力します。	R2743	<上段> 歯式(傷病名)の順序が誤っています。 <下段> 歯式(傷病名)[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(最大384文字)XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2745	傷病名部位レコードの歯式(補足コメント)が規定の順序で記録されていない場合、エラーを出力します。	R2745	<上段> 歯式(補足コメント)の順序が誤っています。 <下段> 歯式(補足コメント)[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(最大384文字)XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2747	コメントレコードの歯式(コメント)が規定の順序で記録されていない場合、エラーを出力します。	R2747	<上段> 歯式(コメント)の順序が誤っています。 <下段> 歯式(コメント)[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(最大384文字)XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2749	入院レセプトの医療機関情報レコードに不要な「施設基準届出コード」が記録された場合、エラーを出力します。	R2749	<上段> 入院レセプトの医療機関情報レコードに不要な届出が記録されています。 <下段> 届出[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2751	入院レセプトの傷病名部位レコードの診療開始日の桁数が7桁未満(省略含む)場合、エラーを出力します。	R2751	<上段> 入院レセプトの診療開始日の記録が誤っています。 <下段> 診療開始日[XXXXXXXX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2754	入院レセプトのレセプト共通コードの入院年月日の桁数が7桁未満(省略含む)場合、エラーを出力します。	R2754	<上段> 入院レセプトの入院年月日の記録が誤っています。 <下段> 入院年月日[XXXXXXXX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]

受付前点検(歯科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R2755	入院レセプトのレセプト共通レコードに未来院請求コードが記録された場合、エラーを出力します。	R2755	<上段> 入院レセプトに不要な未来院請求コードが記録されています。 <下段> 未来院請求コード[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2756	入院レセプトの傷病名部位レコードに病態移行が記録された場合、エラーを出力します。	R2756	<上段> 入院レセプトに不要な病態移行が記録されています。 <下段> 病態移行コード[X]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2757	入院レセプトの併存傷病名が記録されている傷病名部位レコードの先頭レコード以外に歯式(傷病名)が記録された場合、エラーを出力します。	R2757	<上段> 併存傷病名グループの先頭の傷病名部位レコード以外に歯式(傷病名)が記録されています。 <下段> 歯式(傷病名)[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(最大384文字)XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2758	入院レセプトの併存傷病名が記録されている傷病名部位レコードの診療開始日が全て同一で記録されていない場合、エラーを出力します。	R2758	<上段> 診療開始日が併存傷病名グループの先頭の傷病名部位レコードの診療開始日と異なっています。 <下段> 診療開始日[XXXXXXXX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2760	併存傷病名が記録されている傷病名部位レコードの先頭レコード以外に併存傷病名数が記録された場合、エラーを出力します。	R2760	<上段> 併存傷病名グループの先頭の傷病名部位レコード以外に併存傷病名数が記録されています。 <下段> 併存傷病名数[X]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XX]
R2761	入院レセプトの併存傷病名が記録されている傷病名部位レコードに主傷病コードが全て同一で記録されていない場合、エラーを出力します。	R2761	<上段> 主傷病が併存傷病名グループの先頭の傷病名部位レコードの主傷病と異なっています。 <下段> 主傷病コード[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2762	医療機関情報レコードの届出が左詰で記録されていない場合、エラーを出力します。	R2762	<上段> 医療機関情報レコードの届出が左詰で記録されていません。 <下段> 届出[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2763	医療機関情報レコードの届出に同一のコードが重複して記録された場合、エラーを出力します。	R2763	<上段> 医療機関情報レコードの届出が重複して記録されています。 <下段> 届出[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R3001	労働者の氏名が省略又は全桁スペースである場合、エラーを出力します。	R3001	<上段> 労働者の氏名が記録されていません。
R3002	労働者の氏名に外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3002	<上段> 労働者の氏名に外字が含まれています。
R3003	労働者の氏名(カナ)に外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3003	<上段> 労働者の氏名(カナ)に外字が含まれています。
R3021	暦年月日以外の入院年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R3021	<上段> 入院年月日が正しい暦年月日で記録されていません。
R3022	入院レセプトで療養期間一末日後の入院年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R3022	<上段> 療養期間一末日後の入院年月日が記録されています。
R3023	入院レセプトで生年月日前の入院年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R3023	<上段> 生年月日前の入院年月日が記録されています。
R3031	事業の名称に外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3031	<上段> 事業の名称に外字が含まれています。
R3032	事業場の所在地に外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3032	<上段> 事業場の所在地に外字が含まれています。
R3041	医療機関所在地に外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3041	<上段> 医療機関所在地に外字が含まれています。
R3042	医療機関責任者氏名に外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3042	<上段> 医療機関責任者氏名に外字が含まれています。
R3102	労災指定医療機関の開設前の療養期間一初日が記録された場合、エラーを出力します。	R3102	<上段> 貴院開設前の療養期間一初日が記録されています。
R3103	請求権消滅時効(療養期間から請求受付年月の間が3年1ヵ月(37ヶ月)を超えている)のレセプトが請求された場合、エラーを出力します。	R3103	<上段> 請求権消滅時効のレセプトです。
R3145	暦年月日以外の生年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R3145	<上段> 生年月日が正しい暦年月日で記録されていません。
R3201	当該療養期間の日数を超えた診療実日数が記録された場合、エラーを出力します。	R3201	<上段> 診療実日数が当該療養期間の日数を超えています。
R3204	傷病名コードが、傷病名マスターに登録されていない場合、エラーを出力します。	R3204	<上段> 存在しない傷病名コードが記録されています。
R3205	傷病名部位の修飾語コードが、修飾語マスターに登録されていない場合、エラーを出力します。	R3205	<上段> 存在しない修飾語コードが記録されています。
R3206	療養期間一初日後の診療開始日が記録された場合、エラーを出力します。	R3206	<上段> 療養期間一初日後の診療開始日が記録されています。
R3207	診療開始日が暦年月日以外である場合、エラーを出力します。	R3207	<上段> 診療開始日が正しい暦年月日で記録されていません。
R3209	未コード化傷病名の場合、傷病名称が入力されていない場合、エラーを出力します。	R3209	<上段> 未コード化傷病名の傷病名称が記録されていません。
R3211	未コード化傷病名の場合、傷病名称に外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3211	<上段> 傷病名称に外字が含まれています。
R3214	傷病名の補足コメントに外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3214	<上段> 補足コメントに外字が含まれています。
R3215	診療開始日の年号に、「1」(明治)、「2」(大正)、「3」(昭和)、又は「4」(平成)以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3215	<上段> 診療開始日の年号区分コードに誤ったコードが記録されています。

受付前点検(歯科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R3216	傷病名部位に使用できないコメントコード(コメントパターン「10」以外、及び「20」以外)が記録された場合、エラーを出力します。	R3216	<上段> 傷病名部位レコードでは使用できないコメントコードが記録されています。
R3217	歯式マスターに存在しない歯式コードが記録された場合、エラーを出力します。	R3217	<上段> 歯式マスターに存在しない歯式コードが記録されています。
R3221	生年月日より前の診療開始日が記録された場合、エラーを出力します。	R3221	<上段> 生年月日以前の診療開始日が記録されています。
R3222	算定日情報が生年月日以前に記録された場合、エラーを出力します。	R3222	<上段> 生年月日以前の算定日が記録されています。
R3302	診療識別と医薬品区分の関連誤り又は点数回数単位に医薬品区分が混在して記録された場合、エラーを出力します。	R3302	<上段> 医薬品区分の使用方法が誤っています。
R3304	数量データが必須の摘要データに対し数量データが記録されていない場合、エラーを出力します。	R3304	<上段> きざみ計算診療行為の数量データが記録されていません。
R3306	減点医薬品の場合、減点点数が記録されていない、又は0点が記録された場合、エラーを出力します。	R3306	<上段> 減点医薬品の減点点数が記録されていません。
R3307	点数、または、金額が記録されていない場合、エラーを出力します。	R3307	<上段> 点数、又は金額の記録が必要な箇所ですが、点数、又は金額が記録されていません。
R3308	特定器材加算等コード1に高圧酸素加算が指定された場合、特定器材加算等数量データ1が記録されていない、または特定器材加算等コード2に高圧酸素加算が指定された場合、特定器材加算等数量データ2が記録されていない場合、エラーを出力します。	R3308	<上段> 特定器材加算等コードの数量が記録されていません。
R3309	医薬品の使用量が記録されていない、又は0が記録された場合、エラーを出力します。	R3309	<上段> 医薬品の使用量に対し0又は省略(スペース)が記録されました。
R3313	都道府県購入価格を使用する特定器材の場合、かつ、単価が記録されていない、又は0円である場合、エラーを出力します。	R3313	<上段> 特定器材の単価が記録されていません。
R3317	請求ファイルの数量データ※が診療行為マスター(歯科診療行為マスター、医科診療行為マスター(きざみテーブル))のきざみ下限値以下の場合、エラーを出力します。 ※数量データ: 労災歯科診療行為レコードの診療行為数量データ1、診療行為数量データ2、労災医科診療行為レコードの数量データ	R3317	<上段> 記録された数量データが下限値以下のため点数計算ができません。
R3318	減点診療行為又は都道府県購入価格(点数)診療行為が一般診療行為と同一回数単位で記録された場合、エラーを出力します。	R3318	<上段> 該当の診療行為のみで点数を記録してください。
R3319	減点医薬品が一般医薬品と同一回数単位で記録された場合、エラーを出力します。	R3319	<上段> 減点医薬品のコードのみで点数を記録してください。
R3320	診療行為レコードの外泊診療行為を記録した行に点数が記録されていない場合、エラーを出力します。	R3320	<上段> 外泊診療行為には点数の記録が必要ですが、点数が記録されていません。
R3321	全額撮影以外の歯科エックス線撮影(アナログ撮影)において、診断料、撮影料と同一回数単位内に複数の特定器材レコード(歯科用エックス線フィルム等)が記録された場合、エラーを出力します。	R3321	<上段> 全額撮影以外の歯科エックス線撮影(アナログ撮影)において、診断料、撮影料と同一回数単位内に複数の特定器材レコード(歯科用エックス線フィルム等)が記録されています。
R3322	全額撮影以外の歯科エックス線撮影(アナログ撮影)において、診断料、撮影料と同一回数単位内に使用量が「1」枚以外の特定器材レコード(歯科用エックス線フィルム等)が記録された。	R3322	<上段> 全額撮影以外の歯科エックス線撮影(アナログ撮影)において、診断料、撮影料と同一回数単位内に記録された特定器材レコード(歯科用エックス線フィルム等)の使用量が「1」枚以外です。
R3390	コメントパターンが「20」以外の場合、文字データに外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3390	<上段> コメントの文字データに外字が含まれています。
R3391	6歳未満の自己血による輸血料の算定において、数量データ2で記録する患者体重が誤って記録された(患者体重が100以上900, 000g以下ではない場合、エラーを出力します。	R3391	<上段> 数量データ2で記録された6歳未満の患者体重が誤っているため、輸血(貯血)料の計算ができません。
R3392	6歳未満の自己血による輸血料の算定において、コメントで記録する患者体重が誤って記録された(コメントコードが「840000082」(患者体重コメント)の場合、文字データが000100~900000ではない場合、エラーを出力します。	R3392	<上段> コメントで記録された患者体重が誤っています。
R3393	存在しない修飾語コードがコメントに記録されています。修飾語マスターに存在しない修飾語コードが記録された場合、エラーを出力します。	R3393	<上段> 存在しない修飾語コードがコメントに記録されています。
R3402	①アナログ撮影とデジタル撮影の2枚目以降(100分の50)の撮影料が単独で記録された ②アナログ撮影とデジタル撮影の2枚目以降(100分の50)の撮影料が回数算定単位の先頭に記録された (※①②2枚目以降の撮影料の診療行為コードが先頭、あるいは単独で記録された場合) ③撮影の種類(単純撮影、造影剤使用撮影等)が異なるアナログ撮影とデジタル撮影の2枚目以降(100分の50)の撮影料が記録された (※③撮影区分が異なる撮影料の診療行為コードが記録された場合) 上記のいずれかに合致する場合、エラーを出力します。	R3402	<上段> 他方と同時併施の撮影料の記録が誤っています。
R3403	当該療養期間一初日に廃止又は新設前の診療行為・医薬品・特定器材コードが記録された場合、エラーを出力します。	R3403	<上段> 当該療養期間一初日では、既に廃止されているか、あるいはまだ有効となっていないコードであるため、使用できません。
R3407	6歳未満の自己血輸血の場合、患者体重のコメントコードが記録されていない場合、エラーを出力します。	R3407	<上段> 6歳未満の患者体重が記録されていないため輸血料の計算ができません。
R3408	請求点数(点数・回数単位の合計)が最大桁を超える点数・回数が記録された場合、エラーを出力します。	R3408	<上段> 記録された点数、回数により請求点数を計算した結果、計算不能となりました。点数等の記録内容を確認してください。
R3410	6歳未満の自己血輸血の場合、患者体重のコメントコード(「840000082」(患者体重コメント))が誤って記録された場合、エラーを出力します。	R3410	<上段> 6歳未満の患者体重が誤っているため輸血料の計算ができません。

受付前点検(歯科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R3439	文字データが数字のみ有効のコメントコード(コメントパターンが「40」又は「41」の場合)に、数字以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3439	<上段> 文字データが数字のみ有効のコメントコードですが、文字データに数字以外が含まれています。
R3440	文字データの桁数が決められているコメントコード(コメントパターンが「40」又は「41」の場合)に、異なる桁数の文字データが記録された場合、エラーを出力します。	R3440	<上段> 記録された文字データの桁数が、当該コメントに記録すべき文字データの桁数と一致しないため、コメントが正しく作成できません。
R3467	複数種類の硬膜外麻酔加算が記録された場合、エラーを出力します。	R3467	<上段> 複数種類の硬膜外麻酔加算が混在して記録されています。
R3470	閉鎖循環式全身麻酔に係る診療行為と、一般の診療行為が記録された場合、エラーを出力します。	R3470	<上段> 閉鎖循環式全身麻酔と一般の診療行為が混在して記録されています。
R3490	診療識別「97」以外に食事療養費関係の診療行為が記録された場合、エラーを出力します。	R3490	<上段> 食事欄以外に食事療養費関連のコードが記録されています。
R3491	診療識別「97」に食事療養費関係以外の診療行為が記録された場合、エラーを出力します。	R3491	<上段> 食事欄に食事以外の診療行為が記録されました。
R3495	医薬品・特定器材に診療識別「97」が記録された場合、エラーを出力します。	R3495	<上段> 医薬品・特定器材に診療識別「97」が記録されました。
R3531	請求ファイルに記録されている食事療養合計回数が当月日数×3食分を超える場合、エラーを出力します。 ※当月日数は、療養期間-初日が11月であれば30日、療養期間-初日が12月であれば31日となります。	R3531	<上段> 食事療養回数が当月日数×3食分を超えています。
R3534	請求ファイルに記録されている食事療養合計回数が診療実日数×3食分を超える場合、エラーを出力します。	R3534	<上段> 食事療養回数が診療実日数×3食分を超えています。
R3765	帳票種別により短期レセプトか長期レセプトかを判断し、請求ファイル内で以下の項目が一致する場合、エラーを出力します。 短期レセプトの場合 ・労働保険番号 ・労働者の氏名(カナ) ・生年月日 ・傷病年月日 ・療養期間 ・診療実日数 ・合計額(イ)+(ロ)+(ハ) ・帳票種別 長期レセプトの場合 ・労働者の氏名(カナ) ・年金証書番号 ・療養期間 ・診療実日数 ・合計額(イ)+(ロ)+(ハ) ・帳票種別	R3765	<上段> 重複した給付キーが存在します。 <下段> 療養期間-初日[XXXXXXX]療養期間-末日[XXXXXXX]
R3804	暦年月日以外の傷病年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R3804	<上段> 傷病年月日が正しい暦年月日で記録されていません。
R3805	療養期間-末日後の傷病年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R3805	<上段> 療養期間-末日後の傷病年月日が記録されています。
R3806	生年月日以前の傷病年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R3806	<上段> 生年月日以前の傷病年月日が記録されています。
R3807	傷病年月日の年号に、「1」(明治)、「2」(大正)、「3」(昭和)、又は「4」(平成)以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3807	<上段> 傷病年月日の年号区分に誤ったコードが記録されています。
R3810	生年月日以前の療養期間-初日が記録された場合、エラーを出力します。	R3810	<上段> 生年月日以前の療養期間-初日が記録されています。
R3811	傷病年月日以前の療養期間-初日が記録された場合、エラーを出力します。	R3811	<上段> 傷病年月日以前の療養期間-初日が記録されています。
R3812	療養期間-末日の翌日以降の療養期間-初日が記録された場合、エラーを出力します。	R3812	<上段> 療養期間-末日後の療養期間-初日が記録されています。
R3816	生年月日以前の療養期間-末日が記録された場合、エラーを出力します。	R3816	<上段> 生年月日以前の療養期間-末日が記録されています。
R3820	転帰事由に「1」(治ゆ)、「3」(継続)、「5」(転医)、「7」(中止)、または「9」(死亡)以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3820	<上段> 記録できない転帰事由が記録されています。
R3821	新継再別に「1」(初診)、「3」(転医始診)、「5」(継続)、または「7」(再発)以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3821	<上段> 記録できない新継再別が記録されています。
R3823	長期のレセプトで労働保険番号が記録された場合、エラーを出力します。	R3823	<上段> 長期のレセプトで労働保険番号が記録されています。
R3824	短期のレセプトで労働保険番号が記録されていない場合、エラーを出力します。	R3824	<上段> 短期のレセプトで労働保険番号が記録されていません。
R3825	長期のレセプトで年金証書番号が記録されていない場合、エラーを出力します。	R3825	<上段> 長期のレセプトで年金証書番号が記録されていません。
R3826	短期のレセプトで年金証書番号が記録されている場合、エラーを出力します。	R3826	<上段> 短期のレセプトで年金証書番号が記録されています。
R3827	入院外レセプトで食事療養合計回数が記録された場合、エラーを出力します。	R3827	<上段> 入院外レセプトで食事療養合計回数が記録されています。
R3828	入院レセプトで食事療養合計回数が記録されていない場合、エラーを出力します。	R3828	<上段> 入院レセプトで食事療養合計回数が記録されていません。
R3829	入院外レセプトで食事療養合計金額が記録された場合、エラーを出力します。	R3829	<上段> 入院外レセプトで食事療養合計金額(ハ)が記録されています。
R3830	入院レセプトで食事療養合計金額が記録されていない場合、エラーを出力します。	R3830	<上段> 入院レセプトで食事療養合計金額(ハ)が記録されていません。

受付前点検(歯科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R3835	ある診療行為について、金額と点数が両方とも記録されていない場合、エラーを出力します。	R3835	<上段> 該当の診療行為に対して、点数または金額が記録されていません。 <下段> レコード識別情報[XX]□レセプト内レコード番号[XXXX]
R3838	診療行為マスターの点数識別が「1」(金額)の場合、金額が記録されていない場合、エラーを出力します。	R3838	<上段> 該当の診療行為には金額の記録が必要ですが、金額が記録されていません。 <下段> レコード識別情報[XX]□レセプト内レコード番号[XXXX]
R3839	診療行為マスターの点数識別が「1」(金額)以外の場合、不要な金額が記録されている場合、エラーを出力します。	R3839	<上段> 該当の診療行為には金額の記録は不要ですが、金額が記録されています。 <下段> レコード識別情報[XX]□レセプト内レコード番号[XXXX]
R3851	未来院請求レセプトの診療実日数が0で記録されていない場合、エラーを出力します。	R3851	<上段> 未来院請求レセプトの診療実日数が0ではありません。
R3852	未来院請求レセプトが、月遅れ請求(療養期間< (当月処理対象年月-1))でない場合、エラーを出力します。	R3852	<上段> 未来院請求レセプトの請求年月が療養期間-末日から1ヶ月以上経過していません。
R3861	労災歯科診療行為レコードの診療行為コードに、加算項目(歯科診療行為マスター上で加算コードが「00000」以外)が記録された場合、エラーを出力します。	R3861	<上段> 基本診療行為の記録位置に、加算コードが記録されています。
R3870	診療識別が投薬注射で、医薬品に歯科処置・手術・麻酔専用薬剤(麻酔・処置・手術等で使用した薬剤)が記録された場合、エラーを出力します。	R3870	<上段> 投薬等で歯科処置・手術・麻酔専用薬剤が記録されました。該当医薬品は当該診療識別では記録できません。
R3871	未コード化特定器材の記録に際し、「特定器材名称・商品名及び規格又はサイズ」が記録されていない場合、エラーを出力します。	R3871	<上段> 未コード化特定器材が記録されていますが、特定器材名称・商品名及び規格又はサイズが記録されていません。
R3872	未コード化特定器材のコードが入力された場合、かつ、特定器材の「特定器材名称・商品名及び規格又はサイズ」に外字が記録されている場合、エラーを出力します。	R3872	<上段> 特定器材名称・商品名及び規格又はサイズに外字が含まれています。
R3873	診療行為情報レコードに、歯科診療行為マスター・医科診療行為マスター・医薬品マスター・特定器材マスター・コメントマスターに登録されていないコードが、記録された場合、エラーを出力します。	R3873	<上段> 診療行為情報レコードに存在しないコード(歯科診療行為コード、医科診療行為コード、医薬品コード、特定器材コード又はコメントコード)が記録されています。
R3874	文字データの記録が必要なコメントコード(コメントパターン「10」の場合)に、文字データおよび歯式が記録されていない場合、エラーを出力します。	R3874	<上段> 文字データの記録が必要なコメントコードですが、文字データ及び歯式が記録されていません。
R3901	症状詳細区分「50」(治験概要)、「51」(リハビリに係る記録データ)、「52」(廃用症候群に係る評価表)以外の症状詳細データに外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3901	<上段> 症状詳細に外字が含まれています。
R3902	症状詳細区分「50」(治験概要)に外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3902	<上段> 治験概要に外字が含まれています。
R3903	症状詳細区分「51」(リハビリに係る記録データ)又は「52」(廃用症候群に係る評価表)に外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3903	<上段> リハビリ、又は廃用症候群に係る記載に外字が含まれています。
R4005	初診料及び再診料の診療行為コードが、労災保険用でないコードが使用された場合、エラーを出力します。	R4005	<上段> 初診料及び再診料について、労災保険で設定したコード以外(他保険)のコードを記録されています。
R4006	療養給付請求書取扱料が記録されている場合に、新継再別が「1」(初診)以外が記録されている場合に、エラーを出力します。	R4006	<上段> 療養給付請求書取扱料が記録されていますが、新継再別が「1」(初診)となっていません。
R4007	初診料が記録されているが、新継再別が「1」(初診)、「3」(転医始診)、又は「7」(再発)となっていない場合、エラーを出力します。	R4007	<上段> 初診料が記録されていますが、新継再別が「1」(初診)、「3」(転医始診)、又は「7」(再発)となっていません。
R4008	入院外レセプトについて、記録されている診療実日数が初診料、再診料、外来診療料自体、又は再診料、外来診療料が含まれる診療行為の累計回数未済の場合はエラーを出力します。	R4008	<上段> 回数が記録されているが、初診料及び再診料(又は外来診療料)算定回数が診療実日数を超過しています。
R4009	入院患者に対して、医薬品の点数が記録されているときに診療実日数を超える調剤料が記録された場合、エラーを出力します。	R4009	<上段> 入院患者に対して、医薬品の点数が記録されているが、調剤料の算定回数と診療実日数が合致していません。
R4010	事業の名称が記録されていない場合、エラーを出力します。	R4010	<上段> 事業の名称が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R4011	事業場の所在地が記録されていない場合、エラーを出力します。	R4011	<上段> 事業場の所在地が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R4012	「9999999999999999」(労働保険番号不明)以外の労働保険番号において、労働保険加入者台帳に登録されていない場合、エラーを出力します。	R4012	<上段> 記録されている労働保険番号はシステムに登録されていません。 <下段> 労働保険番号[XXXXXXXXXXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R4013	労働保険番号が、保険適用開始されていない場合、エラーを出力します。	R4013	<上段> 記録されている労働保険番号に対する保険関係が成立していません。 <下段> 労働保険番号[XXXXXXXXXXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R4014	労働保険番号が、保険適用廃止となっている場合、エラーを出力します。	R4014	<上段> 記録されている労働保険番号に対する保険関係が消滅しています。 <下段> 労働保険番号[XXXXXXXXXXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R4119	病棟区分1~4で重複したコードが記録された場合、エラーを出力します。	R4119	<上段> 同一病棟区分が2つ以上記録されています。
R4222	保険請求可能な傷病名が1レコードも記録されていない場合、エラーを出力します。	R4222	<上段> 保険請求可能な傷病名が記録されていません。
R4301	診療行為(労災歯科診療行為レコード、労災医科診療行為レコード)、医薬品、特定器材の点数を算出し、請求ファイルに記録されている点数と一致しない場合は、エラーを出力します。	R4301	<上段> 固定点数が誤っています。

受付前点検(歯科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R4313	特定器材マスターの新又は現金額と請求ファイルに記録されている単価とが異なる場合、エラーを出力します。 ただし、酸素補正率及び高気圧酸素加算、定置式液化酸素貯槽（CE）、可搬式液化酸素容器（LGC）、大型ポンペ、小型ポンペの場合は、特定器材マスターの新又は現金額が請求ファイルに記録されている単価より低い場合に、エラーを出力します。	R4313	<上段> 特定器材告示価格と異なる単価が記録されています。記録を省略することも可能ですので、ご確認ください。
R4319	歯科診療行為マスター（算定回数限度テーブル）に登録されている場合、チェックを行います。 請求ファイルに記録されている回数が歯科診療行為マスター（算定回数限度テーブル）の算定回数限度を超過する場合、エラーを出力します。  医科診療行為マスターの上限回数が0以外の場合チェックを行います。 請求ファイルに記録されている回数が医科診療行為マスターの上限回数を超過する場合、エラーを出力します。	R4319	<上段> 当該診療行為の上限回数を超える回数が記録されています。
R4320	請求ファイルに単位コードが記録されている場合、チェックを行います。 特定器材マスターの単位コードと請求ファイルに記録されている単位コードとが異なる場合、エラーを出力します。	R4320	<上段> 特定器材の単位と異なる単位コードが記録されています。記録を省略することも可能ですので、ご確認ください。
R4323	特定器材マスターに単位コードが設定されていない場合で、単位コードが記録されていない場合に、エラーを出力します。	R4323	<上段> 単位コードの記録が必要な特定器材ですが、単位コードが記録されていません。
R4413	アナログ撮影とデジタル撮影の1枚目又は2枚目以降(100分の50)の撮影料が点数回数算定単位に複数記録された場合、エラーを出力します。 (※撮影区分が同一の撮影料の診療行為コードが点数回数算定単位に複数記録された場合)	R4413	<上段> 併算定できない撮影料が記録されています。
R4414	アナログ撮影とデジタル撮影の1枚目と2枚目以降の撮影料の種類(単純撮影、造影剤使用撮影等)が異なる場合、エラーを出力します。 (※撮影区分が点数回数算定単位で異なる場合の撮影料の診療行為コードが、同一算定単位内で種類が異なる場合)	R4414	<上段> 同時算定できない撮影料が記録されています。
R4418	上限値超であっても、当該診療行為に関わるデータの値に従い、きざみ値点数算定を行う診療行為の場合で、請求ファイルの数量データ（労災歯科診療行為レコードの診療行為数量データ1、診療行為数量データ2、労災医科診療行為レコードの数量データ）が診療行為マスター（歯科診療行為マスター、医科診療行為マスター）のきざみ上限値を超過している場合、エラーを出力します。	R4418	<上段> 上限値を超える数量データが記録されています。
R4424	病院の場合で、請求ファイルに記録されている診療行為が診療所のみ適用される診療行為（労災歯科診療行為レコード、労災医科診療行為レコード）の場合、エラーを出力します。	R4424	<上段> 診療所専用の診療行為が記録されています。
R4425	後期高齢者のみに使用される診療行為が記録された場合、エラーを出力します。	R4425	<上段> 後期高齢者専用の診療行為が記録されています。
R4426	画像等手術支援加算に対応する基本項目が算定されていない場合、エラーを出力します。	R4426	<上段> 画像等手術支援加算が算定できない診療行為に画像等手術支援加算が記録されています。
R4427	画像等手術支援加算（ナビゲーション）と画像等手術支援加算（実物大臓器モデル）と画像等手術支援加算（患者適合型手術支援ガイド）が混在して記録、又は複数記録されている場合、エラーを出力します。	R4427	<上段> 画像等手術支援加算が重複して記録されています。
R4435	労災歯科診療行為レコード、労災医科診療行為レコードに、通則加算が記録された場合で、基本項目が記録されていない場合、エラーを出力します。	R4435	<上段> 通則加算が記録されましたが、基本手技が記録されていません。
R4436	労災歯科診療行為レコード、労災医科診療行為レコードに、通則加算が記録された場合で、通則加算の後に注加算が記録された場合、エラーを出力します。	R4436	<上段> 通則加算と注加算の記録順が誤っています。
R4437	通減コードが記録されており、通減対象となる診療行為が記録されていない場合、エラーを出力します。	R4437	<上段> 通減対象外の診療行為に通減のコードが記録されています。
R4451	診療開始日が前月以前のレセプトに初診料が算定されている場合はエラーを出力します。	R4451	<上段> 初診料を算定する条件を満たしていません。診療開始日の記録を確認してください。
R4452	休日加算に係る診療行為を行った日※が休日(日曜日、祝日、1/2、1/3、12/29、12/30、12/31)以外の場合、エラーを出力します。 ※診療行為を行った日は、療養期間-初日の年月+算定日情報(1日の情報~31日の情報)から算出します。	R4452	<上段> 休日以外に、休日加算が記録されています。
R4454	入院レセプトについて、記録されている診療実日数が、入院又は外泊として記録されている入院基本料及び特定入院料の累計回数未満の場合はエラーを出力します。	R4454	<上段> 入院基本料及び特定入院料の算定回数が診療実日数を超えています。
R4455	療養期間-初日以前の算定日情報(回数)が記録された場合に、エラーを出力します。	R4455	<上段> 診療開始日以前の算定日が記録されています。
R4459	地域加算が算定できない医療機関の場合で、全ての診療行為（労災歯科診療行為レコード、労災医科診療行為レコード）が地域加算に関係しない診療行為でない場合、エラーを出力します。	R4459	<上段> 地域加算が算定できない地域です。
R4603	診療所の場合で、請求ファイルに記録されている診療行為（労災歯科診療行為レコードの診療行為コード、労災医科診療行為レコードの診療行為コード）が病院のみ適用される診療行為の場合、エラーを出力します。	R4603	<上段> 病院専用の診療行為が記録されています。
R4606	通則年齢加算が算定可能な労災医科診療行為レコードの診療行為に対して、通則年齢加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4606	<上段> 年齢加算が重複して記録されています。

受付前点検(歯科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R4607	<p>労災医科診療行為、特定器材の算定日情報（1日の情報～31日の情報）に記録がある日付毎に、以下のチェックを行います。</p> <p>下限年齢が設定されている診療行為、特定器材が請求ファイルに記録されている場合で、患者年齢※が診療行為マスター、特定器材マスターの下限年齢より小さい場合、エラーを出力します。</p> <p>また、上限年齢が設定されている診療行為、特定器材が請求ファイルに記録されている場合で、患者年齢が診療行為マスター、特定器材マスターの上限年齢より大きい場合、エラーを出力します。</p> <p>※患者年齢は診療行為を行った日と生年月日から算出し、診療行為を行った日は、療養期間一初日の年月と算定日情報として記録されている日付から算出します。</p>	R4607	<p>&lt;上段&gt; 当該年齢では算定できない診療行為又は特定器材です。</p>
R4608	検査判断料が重複して記録された場合、エラーを出力します。	R4608	<p>&lt;上段&gt; 検査判断料が重複して記録されています。</p>
R4609	診断料が重複して記録された場合、エラーを出力します。	R4609	<p>&lt;上段&gt; 診断料が重複して記録されています。</p>
R4610	請求ファイルに記録された診療行為（労災歯科診療行為レコード、労災医科診療行為レコード）が地域加算に関係しない診療行為以外、かつ該当する地域の地域加算と一致しない場合、エラーを出力します。	R4610	<p>&lt;上段&gt; 異なった地域の地域加算が記録されています。</p>
R4612	同種類の注加算の重複算定がある場合、エラーを出力します。	R4612	<p>&lt;上段&gt; 同時算定不可の注加算が記録されています。</p>
R4613	時間外加算等が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4613	<p>&lt;上段&gt; 時間外加算が重複して記録されています。</p>
R4620	脊髄誘発電位測定加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4620	<p>&lt;上段&gt; 脊髄誘発加算が重複して記録されています。</p>
R4621	頸部郭清術併加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4621	<p>&lt;上段&gt; 頸部郭清術加算が重複して記録されています。</p>
R4623	自動縫合器加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4623	<p>&lt;上段&gt; 自動縫合器加算が重複して記録されています。</p>
R4625	自動吻合器加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4625	<p>&lt;上段&gt; 自動吻合器加算が重複して記録されています。</p>
R4626	超音波内視鏡加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4626	<p>&lt;上段&gt; 超音波内視鏡加算が重複して記録されています。</p>
R4628	入院レセプトの場合で、外来のみ適用される診療行為（労災歯科診療行為レコード、労災医科診療行為レコード）が記録されている場合、エラーを出力します。	R4628	<p>&lt;上段&gt; 入院外専用の診療行為が入院レセプトに記録されています。</p>
R4634	算定可能数を超えた初診料回数が記録された又は当該初診料に係る算定日情報が当該レセプトの診療開始日でない場合に、エラーを出力します。 ※算定日情報(回数):1日の情報～31日の情報になります。	R4634	<p>&lt;上段&gt; 初診料の算定回数が算定可能数を超えています。</p>
R4641	<p>グループ番号が同一である診療行為（労災歯科診療レコード）で、注加算項目：加算識別の昇順以外で記録した場合、エラーを出力します。</p> <p>注加算コードが同一である診療行為（労災医科診療行為レコード）で、注加算通番の昇順以外で記録されている場合、エラーを出力します。</p>	R4641	<p>&lt;上段&gt; 注加算の記録順序が誤っています。</p>
R4644	超音波凝固切開装置等加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4644	<p>&lt;上段&gt; 超音波凝固切開装置加算が重複して記録されています。</p>
R4645	短期滞在手術基本料が記録されている場合で、短期滞在手術基本料が算定可能な診療行為が記録されていない場合、エラーを出力します。	R4645	<p>&lt;上段&gt; 短期滞在手術基本料の算定対象手術が一件も記録されていません。</p>
R4646	短期滞在手術基本料が記録されている場合で、当該短期滞在手術基本料が算定可能な診療行為が記録されていない場合、エラーを出力します。	R4646	<p>&lt;上段&gt; 当該短期滞在手術基本料の区分に該当する手術が記録されていません。</p>
R4651	副鼻腔手術用内視鏡加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4651	<p>&lt;上段&gt; 副鼻腔手術用内視鏡加算が重複して記録されています。</p>
R4652	副鼻腔手術用軟骨部組織切除機器加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4652	<p>&lt;上段&gt; 副鼻腔手術用軟骨部組織切除機器加算が重複して記録されています。</p>

受付前点検(歯科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R4653	長時間麻酔管理加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4653	<上段> 長時間麻酔管理加算が重複して記録されています。
R4656	外泊減算対象外の診療行為と外泊が記録されている場合、エラーを出力します。	R4656	<上段> 外泊減算対象外の診療行為が外泊減算対象として記録されています。
R4661	処置乳幼児加算が記録されている場合で、処置乳幼児加算が算定可能な診療行為が記録されていない場合、エラーを出力します。	R4661	<上段> 処置乳幼児加算が算定できない診療行為に処置乳幼児加算が記録されています。
R4662	処置乳幼児加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4662	<上段> 処置乳幼児加算が重複して記録されています。
R4663	極低出生体重児加算が記録されている場合で、極低出生体重児加算が算定可能な診療行為が記録されていない場合、エラーを出力します。	R4663	<上段> 極低出生体重児加算又は新生児加算が算定できない基本手技に極低出生体重児加算又は新生児加算が記録されています。
R4664	極低出生体重児加算又は新生児加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4664	<上段> 極低出生体重児加算又は新生児加算が重複して記録されています。
R4667	処置乳幼児加算が記録されている場合で、当該処置乳幼児加算が算定可能な診療行為が記録されていない場合、エラーを出力します。	R4667	<上段> 当該診療行為に算定可能な処置乳幼児加算とは異なる処置乳幼児加算が記録されています。
R4762	労災歯科診療行為レコードに基本加算、注加算、材料1加算、材料2加算が算定されていた場合で、加算に対応する基本項目が設定されていない場合、エラーを出力します。	R4762	<上段> 基本診療行為に対し算定できない診療行為加算又は材料加算が算定されています。
R4763	歯科診療行為の届出と一致する届出が医療機関情報レコードの届出に存在しない場合、エラーを出力します。	R4763	<上段> 医療機関情報の届出に診療行為の算定に必要な届出が記録されていません。
R4764	同種類の基本加算の重複算定（グループ番号が同一かつ、基本加算項目：加算識別が同一の基本加算が複数ある）がある場合、エラーを出力します。 同種類の注加算の重複算定（グループ番号が同一かつ、注加算項目：加算識別が同一の注加算が複数ある）がある場合、エラーを出力します。 同種類の材料1加算の重複算定（グループ番号が同一かつ材料項目：加算識別が同一の材料1加算が複数ある）がある場合、エラーを出力します。 同種類の材料2加算の重複算定（グループ番号が同一かつ、材料項目：加算識別が同一の材料2加算が複数ある）がある場合、エラーを出力します。	R4764	<上段> 同時算定不可の加算が記録されています。
R4766	労災歯科診療行為レコードに対してチェックを行います。 歯科診療行為（併算定背反テーブル）に登録されている診療行為の組合せのうち算定不可またはどちらか一方算定可の組合せが、請求ファイルに記録されている場合、エラーを出力します。	R4766	<上段> 同時算定できない診療行為が算定されています。
R4767	未来院請求の場合で、未来院請求時において算定できない歯科診療行為が記録されている場合、エラーを出力します。	R4767	<上段> 未来院請求レセプトでは請求できない診療行為が算定されています。
R4771	労災歯科診療行為の算定日情報（1日の情報～31日の情報）に記録がある日付ごとに以下のチェックを行います。 下限年齢が設定されている診療行為が請求ファイルに記録されている場合、患者年齢が歯科診療行為マスターの下限年齢より小さい場合、エラーを出力します。 また、上限年齢が設定されている診療行為が請求ファイルに記録されている場合、患者年齢が歯科診療行為マスターの上限年齢より大きい場合、エラーを出力します。 ※患者年齢は診療行為を行った日と生年月日から算出し、診療行為を行った日は、療養期間一初日の年月と算定日情報として記録されている日付から算出します。	R4771	<上段> 当該患者の年齢では算定できない診療行為です。
R4772	歯科では請求できない医科診療行為が記録された場合、エラーを出力します。	R4772	<上段> 歯科では請求できない診療行為です。
R4780	グループ番号が同一で歯科診療行為マスター（基本・通則加算対応テーブル）の通則加算項目：加算識別の順序を間違えて（昇順以外で）記録した場合、エラーを出力します。	R4780	<上段> 通則加算の記録順序が誤っています。
R4781	以下の場合、エラーを出力します。 (1)特定器材コードが酸素の場合、酸素補正率、高気圧加算以外が記録された (2)特定器材コードがフィルム料の場合、フィルム料の乳幼児加算以外が記録された	R4781	<上段> 特定器材の加算コード1に記録できない加算コードが記録されています。
R4782	以下の場合、エラーを出力します。 (1)特定器材コードが酸素の場合、酸素補正率、高気圧加算以外が記録された (2)特定器材コードがフィルム料の場合、フィルム料の乳幼児加算以外が記録された	R4782	<上段> 特定器材の加算コード2に記録できない加算コードが記録されています。
R4784	基本診療行為に対し、緊急加算と緊急加算以外の通則加算が記録された場合、エラーを出力します。	R4784	<上段> 基本診療行為に対し、緊急加算と緊急加算以外の通則加算が記録されています。
R4785	緊急加算対象診療行為が基本診療行為を記録したレコードと別のレコードに記録されていない、または、緊急加算の算定回数が、同日算定された緊急加算対象診療行為の算定回数合計を超過している場合、エラーを出力します。	R4785	<上段> 緊急加算と緊急加算対象診療行為が同日算定されていません。又は、緊急加算の算定回数が、同日算定された緊急加算対象診療行為の算定回数合計を超過しています。

